

平成 29 (2017) 年さけます来遊状況 (第 3 報 : 10/31 現在)

1 カラフトマス来遊状況

国立研究開発法人水産研究・教育機構
北海道区水産研究所 さけます生産技術部

- 来遊数は 123 万尾 [前年同期比 : 14%、一昨年同期比 : 59%、平年*1 同期比 : 15%]
- 来遊数は平成以降 (1989 年以降) で最も少なくなることが確実
- 全道で 1 億 3,289 万粒の種卵を確保

*1 : 平年とは、平成元 (1989) ~平成 28 (2016) 年の平均値

(北海道)

10 月末までの北海道のカラフトマス来遊数は 123 万尾 [前年同期比 : 14%、一昨年同期比 : 59%、平年同期比 : 15%] となっています。

カラフトマスの沿岸漁獲と河川捕獲は 10 月でほぼ終漁となるため、本年の来遊数は、平成以降 (1989 年以降) で最も少なくなることが確実な状況となっています (表 1 および図 1)。

来遊年	10/31現在	最終	来遊年	10/31現在	最終
2004(H16)	587	587	2011(H23)	553	553
2005(H17)	918	918	2012(H24)	221	221
2006(H18)	559	559	2013(H25)	325	325
2007(H19)	1,491	1,491	2014(H26)	158	158
2008(H20)	704	704	2015(H27)	210	210
2009(H21)	1,111	1,111	2016(H28)	890	890
2010(H22)	731	731	2017(H29)	123	-
			平年	833	833

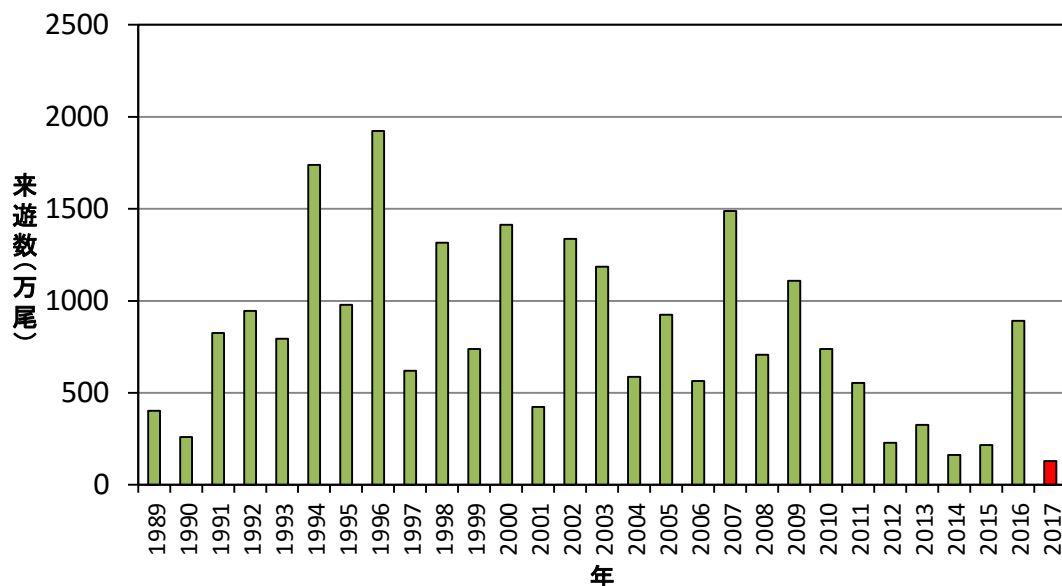


図 1. 7 月 1 日 ~ 10 月 31 日までのカラフトマス来遊数 (累計値). 2017 年は速報値.

地域別にみると、日本海側（オホーツク海区及び日本海区）では112万尾〔前年同期比：13%、一昨年同期比：63%、平年同期比16%〕、太平洋側（根室～えりも以西海区）では12万尾〔前年同期比：21%、一昨年同期比：34%、平年同期比10%〕と、両地域ともに前年、一昨年及び平年を大きく下回っています。

カラフトマスの河川捕獲数は、10月末時点で18万尾〔前年同期比：24%、平年同期比：21%〕となり、平成以降（1989年以降）では最も少なくなっています（表2）。

このような厳しい状況の中で関係者の努力により、本年の採卵数については1億3,289万粒と、前年同期の97%まで確保されました。この採卵数は全道の採卵計画数1億7280万粒の77%に相当します。

なお、北海道のカラフトマスの捕獲採卵は10月で終了となっています。

来遊年	10/31現在	最終	来遊年	10/31現在	最終
2004(H16)	65	65	2011(H23)	59	59
2005(H17)	89	89	2012(H24)	26	26
2006(H18)	94	94	2013(H25)	48	48
2007(H19)	144	144	2014(H26)	26	26
2008(H20)	92	92	2015(H27)	24	24
2009(H21)	131	131	2016(H28)	76	76
2010(H22)	87	87	2017(H29)	18	-
			平年	87	87